

## 信号変換器・本質安全防爆バリヤ

信号には、確実な信頼性が必要とされます。

Pepperl+Fuchs からご提供する信号変換器および本質安全防爆バリヤ、K-シリーズは、取り付けやすさ、使いやすさを考慮したスマートなデザインとともに、様々な信号の種類に対応した製品をご用意しています。石油化学、天然ガス、洋上プラント等、世界のプラントの安全を担い、制御盤の中で、鮮やかなグリーン系のP+F製品が活躍しています。

近接センサ、バルブ、LED、警報器用  
流量計、圧力計、温度計等 計測機器用  
トランスミッタ用、振動計用

本質安全防爆バリヤは、ATEX指令準拠の他、  
中国・ロシア・アメリカ・韓国・日本 (TIS) の  
防爆検定合格品です。

CEマーク、SIL2またはSIL3 対応

より詳しい情報は、こちらのホームページをご覧ください。 [www.pepperl-fuchs.jp](http://www.pepperl-fuchs.jp)

## 計測展2013 TOKYO 出展

会期：2013年11月6日(水)～8日(金)  
10:00～17:00

会場：東京ビッグサイト C-06 (西2ホール)

「防爆ミニセミナー」連日開催!

株式会社 ピーアンドエフ  
〒226-0006 横浜市緑区白山1-18-2  
ジャーマンインダストリーパーク303  
TEL:045-939-7802 FAX:045-939-7804  
E-mail:pa-info@jp.pepperl-fuchs.com

PEPPERL+FUCHS  
PROTECTING YOUR PROCESS

水面の油をいち早く検知  
油の混入を早期発見!

TOA DKK

排水監視

取水監視

## 油膜検知器 ODL-1600

レーザー光線を水面に当て、油と水の反射率の  
違いから油膜を検知します。

さまざまな設置条件に対応した機種をご用意しております

## ODL-1610A

10mまでの検知が  
可能な長距離対応型

## SODL-1600

堅牢なアルミ耐圧防爆型

## OF-1600

LED光採用の小型軽量タイプ

東亜ディーケーケーブース No.M-50 (東京ビッグサイト 西2ホール) でお待ちしております。

おかげさまで、10月31日に東証第一部銘柄に指定されました。

東亜ディーケーケー株式会社

ホームページ <http://www.toadkk.co.jp/>

本社/〒169-8648 東京都新宿区高田馬場1-29-10 TEL.03(3202)0218

●東京：03(3202)0226 ●大阪：06(6312)5100 ●札幌：011(726)9859 ●仙台：022(723)5734 ●筑波：029(857)4091  
●千葉：0436(23)7531 ●神奈川：045(232)1361 ●静岡：054(236)0106 ●名古屋：052(324)6335 ●岡山：086(423)5181  
●広島：082(297)7370 ●山口：0834(27)2707 ●四国：087(831)3450 ●九州：093(551)2727 ●長崎：095(865)0921

## 計測展2013 TOKYO 見どころ 聞きどころ

## JEMIMA委員会セミナー

NO.	時間	講演テーマ	講師	会場
JE-1	14:30 ～ 17:00	EUに始まり世界に広がる、 計測・制御機器を取り巻く 環境関連規制	【環境グリーン委員会】 株式会社環境製作所/ブラッセル駐在 中井 章仁 氏 他2人	101 会議室
JE-2	15:00 ～ 16:30	インバータモータの測定方法に関する 標準化の動向(可変速度システム(PDS) の効率算定に関する国際標準化活動)	【電子測定器委員会】 岩通計測株式会社 長浜 竜氏 他5人	102 会議室
B-7	16:30 ～ 17:00	テラヘルツ電磁波による 安全・安心社会の実現	【戦略的基盤技術検討委員会】 大阪大学 レーザーエネルギー学 研究センター 教授 秋行 正憲 氏	セミナー 会場B
JE-3	10:30 ～ 12:30	広がる校正サービス2013 ～JCSS創設20周年とこれからの20年～	【校正事業推進委員会】 経済産業省 産業技術環境局 知的基盤課 課長補佐 田代 直人 氏 他3人	102 会議室
JE-4	13:00 ～ 15:00	1.工業用無線の電波伝搬と共存管理 2.機能安全の考え方とその適用	【PA-FA計測制御委員会】 1.工業用無線技術調査・研究WG 2.機能安全調査研究WG	102 会議室
JE-5	15:30 ～ 16:45	モノづくりからみた社会における エネルギーの最適利用最前線	【エネルギー・低炭素政策委員会】 アズビル株式会社 高山 仁 氏 他2人	102 会議室
JE-6	14:00 ～ 15:30	放射線測定器サーベイメータの 正しい選定	【放射線計測委員会】 東北大学 中村 尚司 氏 他3人	102 会議室

感性と先端技  
能の  
未来が  
見える  
人間の  
未来が  
見える  
人間の  
未来が  
見える

今年の基調講演は6日  
11時から コマツの野路  
國夫代表取締役会長によ  
る「ものづくりの現場か  
らの提言 コマツの強み  
を活かした成長戦略  
」。中国をはじめとし  
る成長市場や新興国で強  
い競争力を持つ同社の方  
針を紹介。また、現場力  
の強化グローバル生産  
技術開発など、日本が製  
造業で生き残っていくた  
めの提言が行われる。

講演は内閣府総合科学技  
術会議の久間和生常務議  
員による「日本の科学技  
術イノベーション戦略  
を推進するための司令官  
としての提言」を基に、  
政策の企画立案、総合調  
整などを行っている。

日本が現在直面してい  
る最大の課題は「経済再  
生」。その原動力として  
期待されているのが科  
学技術イノベーションで  
ある。今回、久間常務議  
員が最新の科学技術・イ  
ノベーション戦略につ  
いての動向を紹  
介する。基調  
講演の会場は  
会議棟1階レ  
セプションホ  
ールB。聴  
料は無料。  
一方、7日  
12時半から  
講演棟1階レ  
セプションホ  
ールB。聴  
料は無料。  
一方、7日  
12時半から  
講演棟1階レ  
セプションホ  
ールB。聴  
料は無料。

術の融和、ものづくりの  
現場で発揮される日本人  
の強み」と題して、モ  
ノづくりの進化と将来像  
についてを議論する。  
登壇するのは京都工芸  
繊維大学大学院教授の濱  
田泰以伝統みらい教育研  
究センター長、大日本印  
刷の黒田孝 理事、日本  
ロボットの会長の小平紀生  
会長、IDECの藤田俊  
弘常務執行役員、JEM  
IMAエネルギー・低炭  
素政策委員会の石隈徹  
委員長。  
同セッションでは①  
「人・匠 経験・カン・  
コン」の技術による製  
造工程がどう変わるのか  
②自動化が進む生産設  
備がどう発展するのか③人  
と産業用ロボットの共存  
や融和といったテーマ  
に加え、国内外のモノ  
づくりをどう展開するの  
かなどについても取り上  
げられるという。今回も  
同様の白熱した討論が  
行われるだろう。

モノづくりを支えるソリューションを提案  
白熱した議論展開  
ラウンドテーブル

計測・制御機器 技術  
は「産業のマザーツ  
ル」としてモノづくりを  
支えてきた。「計測展」  
は計測・制御機器の最新  
動向が紹介される展示会  
だ。東京と大阪で交互に  
開催されており、今年は  
東京開催。メインテー  
マとして「オートメーシ  
ョン」を打ちだしている。

## 最新動向を紹介

## 産業のマザーツール：計測器

計測の先端技術が集つ  
て、打ちだしている。



今回、ラウンドテーブルセッションのキーワードは「モノづくり」。

azbil

人を中心としたオートメーション



azbilグループは「人を中心としたオートメーション」のグループ理念のもと、  
人々の安心、快適、達成感を実現するとともに、地球環境に貢献します。

アズビル かるた

検索

アズビル株式会社 〒100-6419 東京都千代田区丸の内2-7-3 東京ビル TEL.03-6810-1006

計測展2013 TOKYO

計測展2013 TOKYO・システムコントロール フェア2013に出展します。  
[SCF/計測展共通ゾーン] 西ホール ブースNo.C-01

SCF システム  
コントロール  
フェア2013

2012年4月1日、株式会社 山武はアズビル株式会社に社名変更しました。

YOKOGAWA ◆

つないで、共創る、理想の工場



生産現場と経営をつないで工場の操業を最適化し、  
企業全体の経営効率を高める。  
お客様が「理想の工場」を作り新たな価値を創造するために  
共に汗を流すベストパートナーでありたい。  
YOKOGAWAはGlobal Solutions & Service Companyとして  
進化を続けます。

計測展2013 TOKYO

SCF システム  
コントロール  
フェア2013

●会期：2013年11月6日(水)～8日(金) ●時間：10:00～17:00  
●会場：東京ビッグサイト 西1・2ホール  
●ブースNo.:C-03(横河電機) M-10(横河メータ&インスツルメンツ)

横河電機株式会社  
[www.yokogawa.co.jp](http://www.yokogawa.co.jp)

横河ソリューションサービス株式会社  
<http://www.yokogawa.co.jp/yjp/corporate>

横河メータ&インスツルメンツ株式会社  
<http://www.yokogawa.com/jp-ymi>